

令和3年第1回美祢市議会臨時会会議録

令和3年1月27日（水曜日）

1 出席議員

1番	石井和幸	2番	山下安憲
3番	田原義寛	4番	岡村隆
5番	藤井敏通	6番	村田弘司
7番	杉山武志	8番	坪井康男
9番	猶野智和	10番	秋枝秀稔
11番	岡山隆	12番	高木法生
13番	三好睦子	14番	荒山光広
15番	山中佳子	16番	竹岡昌治

2 欠席議員 なし

3 出席した事務局職員

議会事務局長	石田淳司	議会事務局係長	阿武泰貴
議会事務局企画員	篠田真理		

4 説明のため出席した者の職氏名

市長	篠田洋司	副市長	波佐間敏
教育長	中本喜弘	病院事業管理者	高橋睦夫
代表監査委員	重村暢之	総務部長	田辺剛
総合政策部長	藤澤和昭	地方創生監	藤澤由文
市民福祉部長	杉原功一	建設農林部長	西田良平
観光商工部長	繁田誠	美東総合支所長	志賀雅彦
秋芳総合支所長	鮎川弘子	会計管理者	三戸昌子
教育委員会事務局 教育次長	末岡竜夫	上下水道局長	白井栄次
病院事業局管理部長	安村芳武	消防長	松永潤

5 付議事件

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 議案第1号 令和2年度美祢市一般会計補正予算（第12号）

午前10時00分開会

○議長（竹岡昌治君） おはようございます。これより、令和3年第1回美祢市議会臨時会を開会いたします。

〔議長 竹岡昌治君 登壇〕

○議長（竹岡昌治君） 令和3年第1回美祢市議会臨時会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

輝かしい令和3年の新春を迎え、市民の皆様、執行部の皆様、議員の皆様の健やかなお姿に接し、新年の御挨拶を申し上げますことを心から光栄に存ずる次第でございます。

さて、昨年1月、国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから、はや1年が経過いたしました。皆様には、見えないウイルスに対する感染と健康への不安、そして、移動制限やイベント自粛や、そのほか飲食業や観光関連産業などの停滞に伴う生活の不安など、我が国の経済と美祢市民の皆様方の生活に大きな影響を及ぼしております。

また、感染の第3波と言われる中、11都道府県においては緊急事態宣言が発出され、より厳しい自粛要請がなされているにもかかわらず、感染者の大幅な減少には至っていない状況であります。また、重症患者数が更新されるなど、医療体制についても逼迫していることが危惧されております。

そして、本市におきましても、これまで様々な行事の延期や中止など、市民の皆様々に数々のお願いをしてまいりました。

しかし、いま一度、自分のため、みんなのために、私たち一人一人ができることをしっかりやるということが、これ以上の感染者を出さないことにつながるものと思っております。

いまだ終わりの見えない状況ではございますが、今後は新型コロナウイルスと共存・共生、いわゆるウィズコロナやアフターコロナを見据えて、小中学校などの教育現場で既に進められております、デジタルを活用した新しい生活様式が求められると思っております。そして、日本中がこの難局を乗り越えなければなりません。

3月には、ワクチン接種が順次始まるとのことであります。

これまで、人類は様々な感染症を克服してまいりました。感染症とともに医学は進歩したと言われております。どうか、皆様とともに、一刻も早い収束を願うばかり

りでございます。

このような中、昨年4月に執行された市議会議員一般選挙で、私たち16名を議会に送り出していただき、改めて責任の重さを感じております。

本市議会は、今期臨時会の議案にもありますよう、コロナ禍における関連議案に迅速に対応することで、少しでも安心を感じてもらうことは無論のこと、本庁舎や総合支所整備などの大型事業を契機とした活力あるまちづくりを推進することや、様々な行政課題を的確かつ迅速に解決しなければなりません。

このため、独自に勉強会を開催することで、議員相互のレベルアップを図り、執行部との議論を経て、政策提言できる議会、また、民間の経営手法を取り入れ、これまでの行政運営ではなく、行政経営が執行部との両輪でできるようにと考えております。

結びになりますが、コロナ禍が収まり、皆様が安心して暮らせる日常と、にぎわいのあるまちが必ず戻ってまいります。

どうか、市民の皆様、執行部の皆様の温かい御理解と絶大なる御協力を賜りますよう、切にお願いを申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

本年も、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

〔議長 竹岡昌治君 議長席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） これより、市長より年頭の御挨拶がございます。篠田市長、どうぞお願いいたします。

〔市長 篠田洋司君 登壇〕

○市長（篠田洋司君） 令和3年の念頭に当たりまして、議長及び議員の皆様にご挨拶申し上げますとともに、平素の市政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになったことと、重ねてお喜び申し上げます。

さて、昨年4月の市長選挙におきまして、市政を担わせていただくこととなりました。

新年を迎え、私に課せられた責務の大きさを改めて痛感するとともに、就任当初の気持ちを忘れることなく、市民の皆様の負託にお応え申し上げ、全身全霊を傾け、職責を全うする覚悟を新たにいたしましたところでございます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大し、我が国でも社会経済、そして、国民生活に深刻な影響をもたらしました。

本市におきましても、小中学校などが臨時休業となったほか、予定していた多くの催しが中止になるなど、現在においても、我慢を強いられている状況が続いているところでございます。

こうした中、市民の皆様には、外出自粛や新しい生活様式への変革など、行政の力だけでは乗り越えられない状況で、お一人お一人が感染症対策に取り組んでいただいておりますことに、この場をお借りし、深く感謝申し上げます。

さて、現在、私が市長に就任し、初めての当初予算編成を進めているところでございますが、第一に取り組むべきは新型コロナウイルス感染症対策であります。

これまで継続的に実施してきましたように、国や県の施策に呼応しつつ、市民に寄り添いながら本市独自の支援を展開し、市民の皆様をはじめ、市内事業者等の安全・安心を最優先に確保するよう、全力を傾注して取り組んでまいります。

また、令和2年度に新たにスタートした第二次美祢市総合計画の施策の推進についてであります。これについても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の取組は停滞を余儀なくされたところでございます。

一方で、働き方、学び方、地方移住等の国民の意識や行動に大きな変容が生じている背景から、総合計画に掲げるまちづくりを前進させるため、昨年12月にコロナの時代に呼応するための施策推進方針を策定したところでございます。

私たちの美祢市は、私たち自身で守り続けなければなりません。

美祢市の発展のために、私自身が先頭に立ち、職員一丸となって山積する課題を一つ一つ着実に解決し、住み続けられる、幸せを感じるまちづくりを推進してまいり所存でございます。

どうか、議員の皆様、市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、本年も議長をはじめ、議員の皆様が御健勝で、美祢市議会がさらなる発展を遂げられますとともに、市民の皆様におかれましては、この1年が健康で喜びに満ちた年となりますことを心から祈念申し上げまして、私の年頭の御挨拶といたします。

本年も、どうぞよろしく願い申し上げます。

〔市長 篠田洋司君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） この際、事務局より諸般の報告をいたさせます。事務局長。

○議会事務局長（石田淳司君） 御報告いたします。

本臨時会に本日までに送付してございますものは、執行部からは、議案第1号の1件及び事務局からは会議予定表でございます。

本日配付してございますものは、議事日程表（第1号）及び議案付託表の2件でございます。

御報告を終わります。

○議長（竹岡昌治君） 本日の議事日程は、御手元に配付いたしております日程表のとおりでありますので、御協力のほどお願いいたします。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において藤井敏通議員、村田弘司議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りをいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御異議なしと認めます。よって、会期は1日間と決定いたしました。

日程第3、議案第1号を議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。篠田市長。

〔市長 篠田洋司君 登壇〕

○市長（篠田洋司君） 本日、令和3年第1回美祢市議会臨時会に提出いたしました議案1件について御説明を申し上げます。

議案第1号は、令和2年度美祢市一般会計補正予算（第12号）であります。

このたびの補正は、新型コロナウイルスワクチンの接種に係る経費、及び新型コロナウイルス感染症予防を図るための環境整備経費等、緊急に必要な経費を追加するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効に活用するため、臨時交付金を特定財源として充当した事業の不用額を減額しております。

まず、歳出から御説明いたします。

総務費では、新型コロナウイルス感染症予防を図るための消毒用アルコールやアクリルパネル等の購入経費を追加するほか、災害時の情報伝達手段整備事業として、携帯電話通信網を利用した情報配信アプリ導入委託料を追加する一方で、公立保育園及び温水プールに内部情報系システムネットワークを整備する経費の不用額を減額し、差引き452万円を追加しております。

民生費では、公立保育園園児用トイレ及び職員用トイレの洋式便器改修に係る経費として757万7,000円を追加しております。

衛生費では、年末年始における新型コロナウイルス感染症の電話対応に係る一般職員人件費及び新型コロナウイルスワクチンの接種に係る経費を追加する一方で、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い高齢者及び基礎疾患を有する方、妊婦、高校生、中学生へのインフルエンザ予防接種費用無料化に係る経費の不用額を減額し、差引き1,836万5,000円を追加しております。

農林費では、感染症の影響により売上げが減少した園芸作物生産者等に対する次期作生産経費の支援補助金の不用額を254万9,000円減額しております。

商工費では、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、11月、12月に売上げが減少した飲食店事業者に対する支援補助金や、成人式の延期により売上げが減少した理美容業等事業者に対する支援補助金を追加するほか、水神公園トイレ改修工事費、合わせて2,838万9,000円を追加しております。

教育費では、今年度、GIGAスクール構想で導入しましたタブレット端末のオンラインによる家庭学習を推進するため、Wi-Fi環境が未整備の家庭に対する通信環境整備の補助金、及び成人式の延期に伴う新成人への応援補助金等を追加する一方で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を特定財源として充当した事業の不用額を減額し、差引き1,681万7,000円を追加しております。

次に、歳入では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金などの特定財源を7,214万4,000円追加するほか、一般寄附金を120万円追加する一方で、ゆたかなまちづくり基金繰入金を22万5,000円減額することにより、差引き97万5,000円追加しております。

以上により、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,311万9,000円追加し、歳入歳出予算の総額を204億9,079万1,000円とするものであります。

次に、繰越明許費の補正につきましては、令和3年度に繰り越して事業を実施い

たします新型コロナウイルスワクチン接種事業1件について3,047万7,000円の限度額の設定を行っております。

次に、債務負担行為の補正につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業の1件を追加しております。

以上、提出いたしました議案1件について御説明申し上げましたが、御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〔市長 篠田洋司君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） これにて、提案理由の説明を終わります。

日程第3、議案第1号令和2年度美祢市一般会計補正予算（第1号）の質疑を行います。質疑はございませんか。杉山議員。

○7番（杉山武志君） 市長がいらっしゃいますんで、2点、市長にお尋ねしたいと思います。

今回、コロナ対策費として——簡略してコロナ対策費と言わせていただきますけど、コロナ対策費として、売上げが半減した飲食店等の補助が入っておりますが、市内には、臨時販売を開設されたり、出張販売を始業されたりということで、市民の食や経済、雇用の安定を図っておられる事業所というのが幾つかあると思います。

逆に、その方たちがそう頑張ったおかげで、収入が落ちなかったら補助が受けられないという裏腹なところもあると思うんですけど、そういった事業所の支援というものはいかになっているのかなという思いがしております。

もし、今回の予算にそういったものが入っていなければ、今後、こういった頑張っておられる事業所の支援、頑張る人たちの支援っていうのも考えていただきたいというふうな思いがしておりますが、いかがでしょうか。

それと、もう1点、コロナ対策費により情報発信アプリを導入されるということで、この着眼点、いいところに気がつかれたなという思いがしております。

これにより、コロナ関連の情報提供はもとより、防災情報や市政・一般情報も伝達できるようなアプリになっているのかなと、告知放送に代わるものになるのではないかと喜んでおります。

しかし、私が知っておりますアプリより、導入価格がちょっと高いんじゃないかなという気もしておりますが、どのような機能を備えたものをお考えであろうかと

いうところをお尋ねしたいと思います。

2点、よろしく願いいたします。

○議長（竹岡昌治君） 篠田市長。

○市長（篠田洋司君） 杉山議員の御質問にお答えいたします。

コロナの関連の飲食店への補助金の件でございます。

今回の件は、11月、12月の売上減少額に応じて補助をするということをしております。

おっしゃるように、いろんな形で頑張っていらっしゃる方、私も存じ上げております。

今の御提案は、また、ちょっと今後の検討材料とさせていただきたいと思います。この場での回答は、今後検討させていただきたいということでの回答とさせていただきたいと思います。

それと、2件目、情報——災害情報等に係るアプリの導入委託料でございます。

これにつきましては、まず、何よりも市民の安全・安心を大優先——優先させていただきたいということで、情報伝達手段、災害情報のアプリでございます。これが浸透した後に、当然、行政情報の幅広い提供ということになるかと思っております。

以上でございます。

○議長（竹岡昌治君） 杉山議員。

○7番（杉山武志君） 1点目の飲食業の方々への支援というのは、手厚くまたよろしく願いしたいと思います。

それと、2点目、情報配信のアプリですね。これは、今おっしゃったとおり、告知放送が市内統一化されてない。もう、機械の不調により全然告知放送は入らないという地域が続出しておりますので、ぜひ、そういった方面の活用もお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（竹岡昌治君） ほかに質疑ございませんか。村田議員。

○6番（村田弘司君） 1点、お尋ねをいたしたいと思っております。

今、提案説明で、市長のほうから御説明がありました。新型コロナワクチンですよ、これの接種に関わること。歳出のほうでは詳しくおっしゃらなかったけれども、繰越明許費のほうで、3,000万円を超える金を翌年度に繰り越して事業を実施しようということがありました。

それと、この補正予算書を拝見すると、衛生費のほうで、やはり今年度中に3,200万円程度、それを新型コロナワクチンを接種する事業に執行するというふうになっておると思います。

それで、大変私も気になっておるんですが、恐らく美祢市民の方も心配しておられると思います。

聞くとところによると、このコロナワクチン——新型コロナワクチン、運搬する、保管するのに、マイナス摂氏70度必要であると。それを解凍した後、冷蔵庫等の温度で5日程度が限度であろうと、もつのがですね。そういう保管の体制。

それから、これから新型コロナワクチンを接種していくのが、政府の意向では、医療関係者等、3月末ぐらいから始めて、高齢の方、65歳以上の方が恐らく5月以降になるだろうということですね。一般の方が6月末から7月になるんじゃないかと言われてますけれども。

それにしても、美祢市も小さいとはいえ、2万人を超える人口があります。高齢者の方も大変多い。これから、このワクチンを接種していく方法、やり方ですね。会場をどうするかとか、それからワクチンの保管方法とかスタッフですね。それと、ワクチンを打つ注射、皮下注射じゃなしに、筋肉注射とも言われています。市の職員の方が研さんを積んで注射をするということは法律的に認められてません。医療行為は、やはり看護師等、お医者の方がやられるということが必要ですんで、その辺のスタッフの確保等含めてですね。

全般的なことが、恐らく国のほうからもまだよく伝わってないかもしれませんが、メディア等で見ておりますと、もう既に早いところは、いろんな市町村で準備をもう進めておられます。恐らく、進めないと間に合わないだろうというふうに思いますし、今後、このワクチンを接種するにおいて、データですね。マイナンバーを活用するということが言われてます。きょうの新聞にも、このマイナンバーの活用については、市区町村に任せるといような形が出てました。恐らく政府の意向でしょう。

その辺も含めて、全般的な考え方。今、どの程度まで美祢市においては体制がつくれておるのか。今後どういうふうな形で進めようとしておられるか、それをちょっとお伺いをしたいと思います。

以上です。

○議長（竹岡昌治君） 篠田市長。

○市長（篠田洋司君） 村田議員の御質問にお答えいたします。

ワクチン接種体制等の御質問でございます。

これにつきましては、体制——執行部の体制につきましては、既に関係職員には異動の——人事異動の内示をしたところでございます。

2月1日に正式に室を設けるということでございます。これは、14人体制で臨みます。

今、いろんなことを言われました。確かに、これにつきましては、冷蔵庫等の確保については、もう既に調整済みでございますが、いろんな形で調整する必要がございます、おっしゃるとおり。

ワクチンが市民の方が接種できる環境、しやすい環境も整える必要がございます。そして、注射を打つ医師、医師会等の調整も必要でございます。そして、さらに医療従事者、看護師等のさらなる確保も必要でございます。そういった部分で、あらゆる調整が今後必要でございます。

したがいまして、2月1日、正式に室を立ち上げますので、そこを中心に、いろんな関係機関と調整を図りながら、また、その都度、議会の皆様には御報告をさせていただきながら、市民の方が確実に、しかも予防接種を接種できますよう、希望される方がきちんと接種できますよう、その体制を構築してまいります。

これにつきましては、順次、県等も会議を開催されておりますので、確実な、正確な情報を入手しながら、確実に接種体制、接種できます体制を構築してまいる所存でございます。

以上でございます。

○議長（竹岡昌治君） 村田議員。

○6番（村田弘司君） ありがとうございます。

今、県においての会議等もあるということがありましたんで、いろんな情報をこれから仕入れていかれると思います。

1つ、もう一遍再確認させていただきたいんですが、先ほど、小なりといえども2万人を超える人口を抱えておると。

これから、恐らくワクチンを打つ体制ですよね。会場と言ったほうがいいですかね。人的なことは、医師会等含めてこれから調整をするとおっしゃいましたけれど

も、大きなところは、体育館とかグラウンドとか、今はドライブイン方式——ドライブスルー方式——ドライブインじゃない、ドライブスルー方式でという案も、いろんなところで言われてますよね。

美祢市において、これから体制を確保しようとする場合、会場の確保が非常に大切だろうと思います。いろんなイベント等は、恐らくされることはないでしょうけれども、それでも、ある一定の大きなところを使って接種しようということを考えておられるのであれば、その辺の確保も必要だろうし、市として、例えば美祢市立病院、美東病院、それから各クリニックの方をお願いをして、そこでやっていこうとされておるのか。恐らく、体制的にはそれでは無理だろうと思います。直感的に考えてですね。

そうすると、例えば、体育館では密閉状態になるんで、ある程度露天のところで行うとか。その辺の考え、基本的なスタンスをちょっと確認をさせていただきたいんですが、よろしくをお願いします。

○議長（竹岡昌治君） 杉原市民福祉部長。

○市民福祉部長（杉原功一君） ただいまの御質問にお答えいたします。

現在の状況では、先ほど申し上げました内容のとおり、不明なことがございます。

現在、3か所の接種会場を予定はしておりますが、これにつきましては、薬品、ワクチン自体が、先ほど言われました保存期限というのがございますので、ある程度、無駄にならないようなワクチンの使い方をしたいということ。

それと、あと医療従事者の方の人数が制限されているということから考えまして、ある程度大きな規模の施設、それと、そこで多くの方に接種をいただくというふうに、今考えてるところです。

そこで、今候補に挙げておりますのは、美祢市民会館、それと美東健康福祉センター、それに秋芳体育館等を今現在は考えておりますが、今後、医療機関の方、それとワクチンの接種——確保状況等を考えながら、その中で、市民の方に負担がかからないような接種会場を考えていこうと思っております。

また、外でのという形のものはまだ検討段階にございますので、まだはっきりしておりません。

以上です。

○議長（竹岡昌治君） よろしゅうございますか。村田議員。

○6番（村田弘司君） ある意味、安心をいたしました。やはり、これから接種するに当たって、そういうことを、また既に段取りを取っておられるということが分かりました。

どうか今、市民の方に負担がかからないようにこれからもやっていくということをおっしゃいましたんで、大きな会場として、今3か所おっしゃいましたけれども、御高齢の方は、特に足がない方もいらっしゃいます。その辺の対策も含めて、準備をよろしくお願い申し上げたいと思います。

以上です。

○議長（竹岡昌治君） ほかに。岡山議員。

○11番（岡山 隆君） 市長のほうから提案説明があった中で、商工費について、説明——まず、質問したいと思います。

昨年末より、この飲食店事業者関係、非常に影響を受けてきたと。また、新年度にあっても、成人式の延長により売上げが減少し非常に厳しい状況ということで、全国ニュースでも成人式の中止で、着物の貸付けや着つけや髪結いなどがなくて、かなり影響を受けてる、こういったニュースもありました。

それで、美祢市にあっても、こういった支援給付金を早く対応して出されたということに関しては評価をしております。

そういった中で、多くの方、結構事業者は、美祢市の一般財源からこの財源を出すから、美祢市はなかなか財政が厳しい中で、それを何か申請するのもちよっとどうかなっていう、そういった声もありました。

今回は、一般財源という視点じゃなくて、支援補助金、これ、基本的には地方創生臨時交付金ですので、国からいただいたものです。だから、しっかりとそれを、今回支援補助金として充てたんだから、しっかり使っていただきたいよということ、前回いただいても申請しなかったという方もおられますので、こういった方、ある程度分かってきますので、そういった面においてはしっかりと、今回支援給付金については、基本的には国からいただいたお金ですから、しっかりと使っていただいて、美祢市のこういった経済活性のために使っていただきたいと、こういったところの対応というものが要るんじゃないかと思っておりますので、この点についてお伺いします。

○議長（竹岡昌治君） 篠田市長。

○市長（篠田洋司君） 岡山議員の御質問にお答えします。

補助金制度、このたびの補正に計上した部分につきましては、該当と思われる方には、きちんとアナウンスはさせていただきたいと思います。

前回、申請がなかったとか先ほど言われましたけど、申請がないところも追加でアナウンスした経緯もございます。このあたりは、議員の言われるように、しっかりアナウンスはしていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（竹岡昌治君） 岡山議員。

○11番（岡山 隆君） 今回もその可能性はゼロではありませんので、しっかりと対応していただきたいと思います。

それから、教育費なんですけど、Wi-Fi環境が未整備の家庭に対する通信環境整備の補助金に関してですけど。これに関しては、基本的には、Wi-Fiルーターのもう貸付け等を行ったり、通信整備ができていない、そういったところの様々な通信費の負担をされると思います。

そういった方向なんですけれども、基本的には、これを見ると、美祿市の小中学生がタブレットを使って家庭でもきちんと見ていける、誰一人置き去りにしないという、こういった精神というものが入っておる予算案であると思っておりますけれども、これは、ルーターの貸付け等、それ以外の対応というものは、具体的にはどのような対応をされるのか、説明できればよろしく申し上げます。

○議長（竹岡昌治君） 末岡教育次長。

○教育委員会事務局教育次長（末岡竜夫君） 岡山議員の御質問にお答えいたします。

貸付け——ルーターの貸付けではなくて、ルーターの購入、それから引込工事費など、その辺りも含んでおります。

ですから、今から、パソコンさえあれば、きちんとWi-Fi環境を使える状態にするまでの予算を含んでおります。

また詳しくは、委員会のほうで担当課長が参りますので、そちらのほうで、もっと詳しいことは説明させていただければと思います。

以上です。

○議長（竹岡昌治君） 岡山議員。

○11番（岡山 隆君） ありがとうございます。

あと、委員会でしっかりと説明していただきたいと思います。

それと、最後に、先ほど村田議員のほうからも質問がありました。新型コロナウイルス感染症に関するワクチンの接種に対してですね。

今回、このワクチンを接種する順番等もいろいろ言われております。

また、同時に、健康被害制度や、また、アレルギー保持者の対応、様々なこういった情報を皆さんに知らしめていくということが、国レベルでどんどん進んでくるとは思うんですけど、美祢市にあっても今後、業務が多分接種によって増大するであろう健康増進課、こういったところの人数で本当に足りるんかどうか。

こういったところに、要するに人材を派遣する仕組みの運用など、改善するところは、たくさん私はあるのではないかと考えております。

様々な面で、市民の皆さんに、MYT、また紙ベースも、ホームページ、しっかりとその辺の流れを、私は情報を開示していくことは非常に重要なことと考えております。

そういった面において、それを取りまとめる新型コロナウイルス感染症の予防接種の対策本部というものを立ち上げていかれる思いがあるかどうか。

しっかりと——これなかなか全国的にも、また国レベルも大変な状況ですので、市として、そういった情報を開示し、接種がどういう形で進んでいくかということ、私は対策本部を設けて、市民の皆さんが安心していくような、これからのコロナウイルスの感染の予防接種の体制をしっかりと私は作り込んでいくことが重要と考えておりますので、この辺について、対策本部を設けるかどうか、この辺について、最後お尋ねします。

○議長（竹岡昌治君） 篠田市長。

○市長（篠田洋司君） 岡山議員の御質問にお答えいたします。

先ほど、村田議員の御質問でもお答えしましたように、2月1日付で、兼務ではありますが14名体制で、コロナウイルスワクチン接種対策室、これを設置いたします。

この14名のメンバーですけど、健康増進課が主体となるわけでございます。これに、病院の兼務ではありますが病院の職員、また、総合支所の職員も兼務で当たって、庁内で情報を共有しながら、そこが中心となってしっかりと進めるという体制でございます。

今、言われましたような市民への情報提供の部分でございますけど、これにつきましても、その対策室が中心となって、積極的な情報提供に努めたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（竹岡昌治君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第1号は、所管の委員会へ付託いたします。この際、暫時休憩いたします。この間に、予算決算委員会の開催をお願いいたします。

午前10時41分休憩

午後1時28分再開

○議長（竹岡昌治君） 休憩前に続き、会議を開きます。

日程第3、議案第1号令和2年度美祢市一般会計補正予算（第12号）を議題いたします。

本件に関し、常任委員長の報告を求めます。予算決算委員長。

〔予算決算委員長 高木法生君 登壇〕

○予算決算委員長（高木法生君） ただいまより、先ほど開催いたしました予算決算委員会の委員長報告を申し上げます。

本会議におきまして、本委員会に付託されました議案1件について、先ほど審査いたしましたので、御報告申し上げます。

議案第1号令和2年度美祢市一般会計補正予算（第12号）について、委員全員出席のもと慎重に審査いたしましたところ、全会一致にて原案のとおり可決しております。

それでは、議案の審査過程における主な質疑について御報告いたします。

委員より、新型コロナウイルスワクチン接種事業の業務委託料について、業務内容をお伺いするとの質疑に対し、執行部より、ワクチン接種対象者に配布するクーポン券の印刷業務や郵送作業、また、相談や予約を受け付けるコールセンターの運用経費、接種会場の設営に係る必要経費などが業務内容となりますとの答弁があり

ました。

本議案について、ほかにも委員より質疑及び意見がありました。ここでは割愛させていただきます。

以上をもちまして、予算決算委員会の委員長報告を終わります。

〔予算決算委員長 高木法生君 発言席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 予算決算委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 質疑なしと認め、予算決算委員長の報告を終わります。

〔予算決算委員長 高木法生君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 以上をもちまして、常任委員長の報告を終わります。

これより、議案の討論、採決に入ります。

日程第3、議案第1号令和2年度美祢市一般会計補正予算（第12号）の討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第1号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本臨時会に付議されました事件は全て終了いたしました。

これにて、令和3年第1回美祢市議会臨時会を閉会いたします。大変皆様お疲れでございました。

午後1時32分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年1月27日

美祢市議会議長

会議録署名議員

〃